

第3回 麻生区地域デザイン会議 開催結果概要

日 時：令和5年2月23日（木・祝）11:00～14:30

場 所：万福寺おやしる公園（麻生区万福寺3丁目3）

参加者：全体200名程度、意見交換会25名

1 全体概要

(1) 参加者

会議全体を通じて、200名程度の参加があった。
参加者の多くは、子どもを連れた親子連れであった。

(2) 各出展ブースの運営（11時から13時頃）

竹ぼうき作り、樹木プレート作り、お絵描き/アート展示、飲食ブースの設置



〔竹ぼうき作り〕



〔樹木プレート作り〕



〔お絵描き、アート展示〕



〔飲食スペース〕

(参加者からの声)

- ・ 万福寺町内会エリアには学校がなく、校庭レベルの広いオープンスペースがない。このため、万福寺おやしる公園が有するスペースは貴重であり、地域の方が集い、活動ができる可能性がある有効な場所であると感じた。〔竹ぼうき作り参加者（親子連れ）〕

- ・ 公園に自分が作成したプレートが掲げられることで、これまで以上に公園を気に掛けるきっかけになる。ただ、今度は公園のゴミなどが気になるようになる。今後、美化活動等があれば参加してみたい。[樹木プレート作り参加者(親子連れ)]

(3) 意見交換会、公園清掃(13時から)

公園のオープンスペースを活用して車座形式で、意見交換を実施し、参加者は、万福寺おやしろ公園の管理する「新百合山手公園管理運営協議会」や地元「万福寺町内会」、当日イベント運営を実施した区民などを中心に約25名であった。

また、意見交換後の14時頃から意見交換会参加者で「万福寺おやしろ公園」での清掃活動を実施した。



[意見交換会の様子]



[公園清掃の様子]

2 意見交換会の詳細

- (1) あいさつ【三瓶区長】
あいさつ【新百合山手公園管理運営協議会 鈴木会長】

・公園をどのように使っていくか、できること/できないことを皆さんと意見交換しながら決めていくことが重要だと感じている。

- (2) 意見交換会【進行役：岡田副区长】

ア 本日の進め方の説明

- ・第2回地域デザイン会議における提案に基づき、「実際にやってみよう」をコンセプトに本日の会議を開催している。
- ・また、麻生中学校からの公園の利活用提案も含めて展示している。
- ・今後の維持管理など大きな課題があるが、是非他方面からの御意見・ご提案をいただきたい。

イ 「第2回デザイン会議のまとめ」「麻生中学校の提案」に対するシール投票の結果発表

当日のシール投票の多かったものを紹介

第2回地域デザイン会議

- ・万福寺檜山公園：斜面を有する地形を活かして、草地の滑り台を作ってみたい。
- ・万福寺おやしる公園：巨大な遊具、子どものお祭り、餅つきなどのイベント
- ・上麻生隠れ谷公園：打ち上げ花火など

麻生中学校

- ・山口白山公園：自然豊かで冒険心溢れる公園
- ・上麻生隠れ谷公園：世代を問わず楽しめる公園
- ・鶴亀松公園：陰と陽のある公園

ウ パネラー自己紹介

- ・ 鶴亀松公園、麻生中学校を抱えている町会である。鶴亀松公園は大きすぎて、地元住民だけでは手に負えない。隣接している幼稚園が多くいる。協会からの支援により、年2回剪定講習会イベントを実施している。公園のオブジェが壊れたが、地域住民の意見も分かれており、自治会として意見集約の難しさを感じている。
- ・ コロナ前に町会では夏祭りを盛大に行っていた。子どもたちには残念な思いをさせてしまったが、今年8月こそは課題を乗り越え、実施していき、「万福寺おやしる公園」を含め子どもたちが自分の故郷を感じて、地域を知って愛着を持ってもらえるようにしたい。
- ・ 「地域デザイン会議」という名前が堅苦しい。もう少し親しみやすい名前としていければよい。
- ・ 美化活動を実施しているが、シール投票の中で「清掃活動」に1つも投票がなかったのが残念だ。子どもが竹ぼうき作りなどに目を輝かせて参加している姿をみて、こうしたイベントと清掃を連携させていくことが必要だと感じた。また、管理運営協議会も高齢化が進んでおり、出席者も少なくなってきた。親子や、子どもがきれいな公園を作れるようにしていきたい。
- ・ 新百合ヶ丘に本社を構えており、700、800人の社員がまちを利用させていただいている。このため、地域貢献として清掃活動などに携わっている。本日は業務多忙期にて、参加者はいないが、今後もこのような地域活動の場に加わっていきたいと考えている。
- ・ 子供がいるが、コロナの影響でなかなか遊べる場が少ない中で、御近所レベルだが、工作や手芸を行っている。本日は、色々な事情で火

気を使えないと聞いたが、子どもにとっては分からない事情なので、受益負担の原則から、益を受ける子供たちが清掃活動に加われる仕組みなどがあればよいと思った。

- ・ 近年、園庭を持たない保育園もあると聞くので、公園での運動会と清掃をコラボさせ、親御さんを巻き込むなど考えられる。是非、子どもたちが幼いころからボランティア活動に加わりやすい、雰囲気づくりを大人として携わっていきたい。
- ・ また、山口白山公園に生えている竹を活用したイベントも考えていきたいと考えているので、是非応援してほしい。

エ 参加者からの御意見

- ・ 本公園は、午前は幼稚園、午後は小学生、夕方には中学生と子どもに多く利用されている。こうした中、何とか本公園で花火大会ができるとよいと考えている。
- ・ 小学校区では、朝の交通安全誘導などしているのので、より広い中学校校区など地域と連携できればより。子どもの意見などを広く聞いたまちづくりができればと日々考えている。
- ・ 阪神淡路大震災の支援公園で7か月過ごした経験から、公園で何ができるかを考えるようになった。
- ・ 本日は火を使ったイベントがあると聞いていたので残念だ。子どもたちを巻き込むためには、いかに楽しむ居場所を提供できるかと考えている。清掃についても、一番ゴミを集めた子どもを表彰するなど工夫できるのでは。
- ・ もともと王禅寺ふるさと公園でのイベントに地域と関わってきた。現在では、里地里山に関するボランティア活動をしている。昨日は、柿生小学校と130数名とイベントを行ってきた。子どもたちの活力、感受性は豊かなので、是非巻き込んでいければと思う。大人・子ども一緒に取り組んでいくことが重要だと感じる。
- ・ おやしる公園は、多目的広場としての要素が強い。色々なイベントとして活用してきたが、子どもたちが楽しめる場として使えればよい。ただ、たまり場としてなってほしくないと思う。この思いから、バスケットゴールの設置をお断りした。憩いの場、溜り場の分けは難しいが、今の健全な利用を維持できればよいと思う。
- ・ クップ（スウェーデン発祥のスポーツ）に携わっており、世代問わず関われるスポーツである。こうしたツールを活用して、多世代が交わり、皆がまちの構成員との自覚をもって生活をしていければよいと感じている。
- ・ 意見交換会のメンバーが大人だけなのが残念である。どちらかと言

えば、子供たちの意見を中心に据え、大人が意見を言う形であれば盛り上げられるのではと思った。

- 15、16年前くらいから散策が好きで携わっているが、鳥のさえずりなどがきけなくなってきた。時間帯によって利用者が異なることから、こうしたことも踏まえ、施設が充実できるとよい。
- イベントを含めたまちづくりを行うためには、官民連携することは非常に重要である。準備段階も含め調整を取りながら、令和6年度の緑化フェアを控えていることから、より官民連携して準備を進めていくことが公園の利活用にもつながっていくと考えているので、今後も麻生区役所をはじめとする連携をとりあっていきたい。また、利活用には維持管理が不可欠なので、こちらの面にしっかりと目を向けてほしい。

.....

- 多くの方を巻き込むために、清掃活動と連携したプログラムをどのように実施していくかが重要であると感じた。また、樹木プレートを作成、掲示までを行うことで、公園に愛着が沸いてくるのではないかと感じた。
- 今回、火気の扱いについて、協議会や町内会の方などと意見交換してきたが、近隣の方の声を聞いて断念した経過がある。深夜に若者のたまり場になっていることや、遊具が燃えるボヤが発生するなど新たに分かったこともある。今後、こうした夜の姿も踏まえ、利活用を検討していくことが重要である。
- 今後、おやしる公園に限らず、駅周辺の10公園をネットワークで結ぶなど考えていきたい。

.....

- 夜のおやしる公園が、若者のたまり場になっていることは知らなかった。公園に入れないようにするとか、警察を呼ぶとかになると思うが、よく話し合っ、中高生などが利用することを考えて、しっかり話し合っていくことが重要であると感じた。
- 駅周辺の公園に10ほどの公園があるとの話だが、SNSで結んで桜の開花情報など、情報発信ができれば、さらなる利活用につながるのではと感じた。町内会としての情報が必要であれば、写真提供などできることはあると感じている。
- 昼と夜の利用者が異なっており、夜の利用者がゴミを散らかして帰ってしまう。このため、早朝に来るとゴミが散らかっていることが多いことから、3名のボランティアの方が清掃いただいているので、一

見ると普通の公園に見える。こうした陰の力にも目を向けてほしい。

- ・ 意外とまちの中のどこに公園があるか知らない方が多い。SNS やスタンプラリーで各公園を回ってみてはよいのではないかと感じる。ただ、回るだけでなく、各公園でのゲームや写真撮影して紹介するなどできれば楽しいのではないか。王禅寺ふるさと緑地で希少種（タマノカンアオイなど）を観察するイベントがあり人気があった。また、美化活動のあとにクリスマスグッズを作ったこともあった。これらは親子で参加できるもので、現地にあるものを活用するだけで、費用をかけず楽しいイベントができると思う。
 - ・ 社員も公園でお弁当を食べるなど、利用させてもらっていると思う。社内掲示板に公園の植物情報を掲載などしても面白いかと思った。また、もう少し施設（ベンチ）があれば、フラッと立ち寄れるのではないかと感じた。ボランティアを参加させるには難しい問題である。区内公園でナラ枯れして伐採した樹木がそのままになっているところがあり、チェーンソーで碎いて搬出することを提案したこともあった。研修を受けるだけで免許は要らないこともあるので、みんなに体験してもらいイベント的に仕立てると大人も楽しく関われるのでは。
 - ・ 寺子屋あさおで、四季折々の麻生区の公園を自主開設しているようですが、皆さんが依頼をすれば公園の写真掲載することは可能でしょうか。
- 寺子屋 HP で大きな公園で四季の写真に掲載している。自由に見ただけのと同時に御協力いただける方がいたら、連絡をいただければ ID などを共有し、公開していきたい。
- ・ 3丁目の公園でも、地元住民で半年に1回程度ただのゴミ拾いを行っており、小学生の子どもを参加させたが宝探し感覚で楽しんできた。ボランティアというと堅苦しく、マイナスのイメージもあるが、学生、行政、企業など色々なアプローチ方法があるだろうから、皆さんの知恵を集めて公園を利活用して、麻生区に愛着をもって、みんなで楽しく参加できるコミュニティを築いていきたい。こうした取組に関係していきたい。
 - ・ 小学校が授業の一環として、公園清掃をしている事例もあるのでよい広がりができると思う。管理実務として、協議会の高齢化を懸念しており、こうした取組を通じて、少しでも公園に関わっていただければと思う。

（最後に）

- ・ 建設緑政局から、「全国都市緑化フェア」についての周知

オ まとめ

- 公園については様々な可能性があり、コミュニティの場となることも考えられる。
- 麻生中学生の提案についても、よく考え抜かれていて、清掃についてもプラスアルファの楽しみを持たすなど、楽しみながらやることが、多くの方を巻き込み、また長続きする秘訣であると感じる。
- また、大人と子供でゲームをするなどの内容もあり、コミュニティの場として考えていた。
- これまでは、意見を聞くだけで留まっていることも多かったが、これからは今回の地域デザイン会議や、麻生中学校の提案も含めて、実現に向け少しでもいただいた意見を実施できるよう、まちの方とコミュニケーションを取りながら行政としても進めたい。